

第8回リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議

○ 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議専門部会での対話状況

第21回地質構造・水資源部会専門部会 (令和7年8月4日)

第17回生物多様性専門部会 (令和7年8月20日)

令和7年10月3日

静岡県

第21回地質構造・水資源部会専門部会での対話の内容

※赤字は本日説明する項目

1 【トンネル発生土編】要対策土の処理【対話項目(5)】

- ・自然由来の重金属等を含む要対策土について、JR東海が示した発生量の予測方法並びに予測結果の具体的な内容及びオンサイト処理の詳細を含めた処理方法の検討結果を確認した。

2 報告事項

○藤島発生土置き場への要対策土の盛土

- ・藤島発生土置き場への要対策土の盛土を原則禁止とする県盛土環境条例の適用除外要件(同一事業性)の該当性の判断に必要なため、「全国新幹線鉄道整備法により国土交通大臣が認可した工事实施計画に基づき行われる工事であるか否か」について、国の回答を確認の上、静岡県として適用除外要件を満たし得るとの判断を示した。

○ヤードの用地造成等の整備に係る協議、調整の依頼

- ・JR東海からヤードの用地造成等の整備について、必要な協議や調整の依頼があった旨を報告した。
- ・ヤード整備は、平成30年に、宿舍等の工事や用地造成を「準備工事」、トンネル掘削工事等を「本体工事」として整理し、「準備工事」の着手については認めており、これまでの経緯や大井川の利水関係者の意見も踏まえた上で対応を判断する。

(第17回生物多様性部会専門部会においても報告)

1 要対策土の処理

対話項目1(5) 自然由来の重金属等を含む要対策土の処理

【今回の対話】

- 令和7年6月の専門部会においてJR東海が示した要対策土の発生予測や処理方法について、具体的な予測方法及びオンサイト処理の詳細を含む処理方法について確認する。

【対話の結果】

- 「南アルプスの地質の特徴」や「山梨工区における要対策土の発生状況等のこれまでに得られた情報」を基に、要対策土の発生予測を確認した。
- 要対策土の処理方法については、二重遮水シートによる封じ込めやオンサイト処理など、それぞれの取扱い方法の特徴や検討結果がJR東海から示された。静岡県からは、要対策土の減量や無害化、また更なる安全の確保対策の実施を求めた。

【今後の対話】

- 静岡工区における最も適切な要対策土の処理方法の検討。

第17回生物多様性部会専門部会での対話の内容

※赤字は本日説明する項目

1 沢の上流域調査【対話項目1(2)・(3)】

- ・令和7年春から夏にかけて実施した現地踏査の結果を踏まえて今秋実施する沢の上流域調査の実施計画の内容を確認した。

2 大井川本流の流量及び水温変化【対話項目3(2)、5(2)・(3)】

- ・榎島から上流における低減措置として行う薬液注入の効果を見込んだ大井川本流の河川流量及び本流に放流するトンネル湧水量の予測について確認した。
- ・トンネル湧水を本流に放流する際の、トンネル湧水温及び放流先の河川水温の推定結果並びに水生生物への影響予測について確認した。

3 回避・低減措置及び代償措置【対話項目3(3)】

- ・JR東海が示した、損失全体に対して代償措置を検討、実施する考え方を了解した。

1 沢の上流域調査

対話項目1(2) 沢の上流域の水生生物等の生息状況の調査や、その結果を踏まえた重要種の確定と指標種の選定

対話項目1(3) 必要な調査(モニタリング)の工事着手前の実施

【今回の対話】

- 県からアクセスルートを提供した、15沢における現地踏査の結果を確認するとともに、現地踏査に基づく上流域調査の計画を確認する。

【対話の結果】

- 沢の上流域における水生生物等の生息状況調査を、今秋実施する計画を確認した。
(安全性を考慮した結果、11沢で調査を実施)
- 絶滅危惧ⅠA類であるアカイシサンショウウオの環境DNAが検出されたため、捕獲調査を実施する。

【今後の対話】

- 今秋実施の調査結果等を踏まえた重要種の確定と指標種の選定。

2 回避・低減措置及び代償措置

対話項目3(3) 生物への影響を予測し、「損なわれる環境の『量』と『質』を評価」した上での、「それに見合う新たな環境の創出」等の環境保全措置計画

【今回の対話】

- 代償措置の基本的な方針と具体的な対策を確認する。

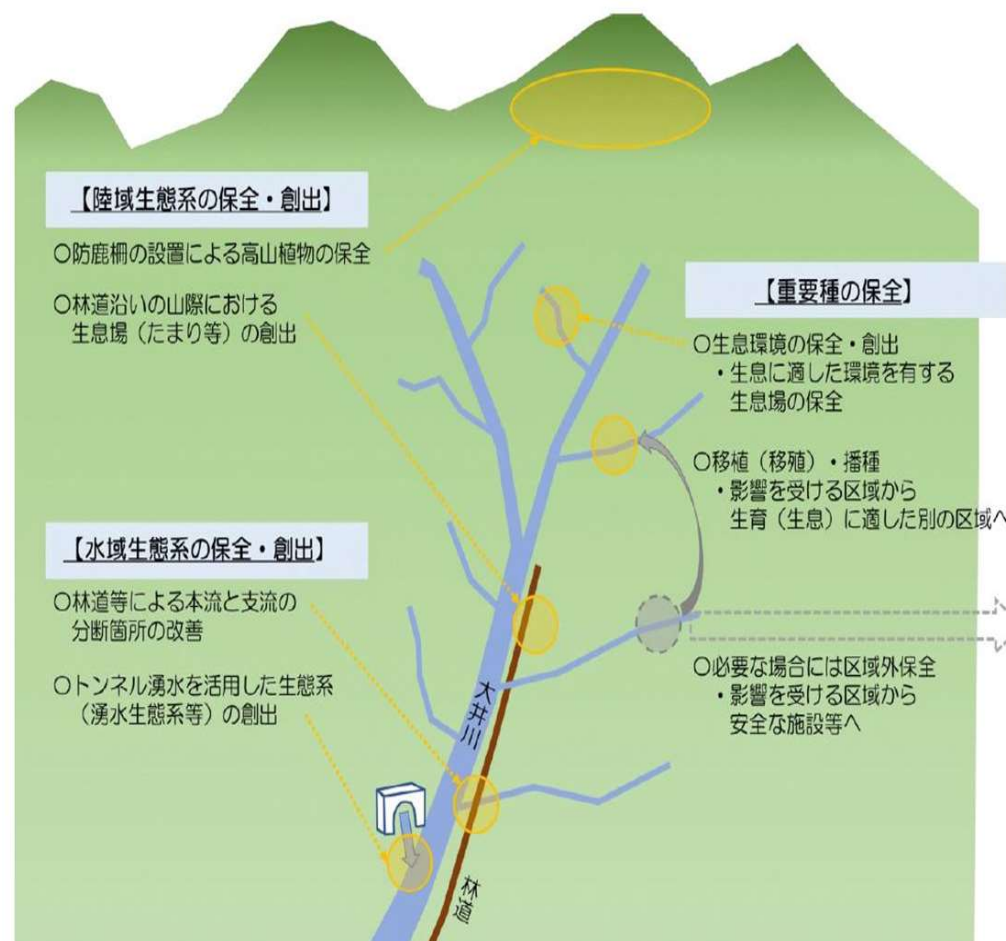
【対話の結果】

- JR東海から、トンネル掘削工事により損なわれる自然環境に対して、回避・低減措置を講じるとともに、南アルプスの自然環境に対して、その保全や調査・研究並びに持続的な利活用への支援のような取組も実施し、南アルプスのネイチャーポジティブに貢献する方針と、現時点で考える取組内容が示され、部会として了解。

【今後の対話】

- 代償措置の具体的な内容の確認。(実施する場所や規模等)

<自然環境を保全・創出する主たる取り組みのイメージ>



<出典> 第17回生物多様性専門部会 JR東海説明資料